

編集後記

本冊子をお読みいただきありがとうございます。

私は普段、東急の二子玉川駅を利用していますが、田園都市線は5年ほど前まで、上りは水天宮前行き・下りは中央林間行きがほとんどでした。その後、半蔵門線が押上まで延伸されたと同時に、東武線との直通運転が始まりました。直通開始当初は日光線南栗橋までの運転で、現在では伊勢崎線久喜までの列車も運転されています。

直通運転が行われることで、さまざまな場所へ乗り換えることなく行けるようになりました。私も北千住へ1本で行けることに利便性を感じています。しかし、今では日中でも4種類の行き先が設定されており、田園都市線では急行運転も実施されていることから、どの列車が一番早く目的地に着くのか判断に迷ってしまいます。

上手にえば、直通運転は乗客の利便性を向上するものです。しかし、運転区間が広範囲になることで、電車に乗る側は乗車列車の選択に困惑してしまいます。

本冊子は、この「困惑」を少しでも緩和できるようなものを目指して作成されました。出来るだけ「テツ」ではない人にもわかりやすい表現を選択したつもりです。ぜひとも本冊子の内容を実際に活用していただければ幸いです。また、今後の鉄道がより利用しやすいものになることを期待し、結びといたします。

「相互直通と行き先・種別変更」製作委員会 メンバー一覧

企画長 07代 関口 隆

06代 飯浜 翔

染谷 諒

07代 新城 大樹

前原 雅紀

08代 稲川 博敬

永井 穰

馬上 一樹